

白壁康先生 作「若草の久住山」

山の日記念 高田力蔵・白壁康記念

第2回「くじゅうの山」 絵画コンクール作品募集

くじゅう連山をこよなく愛した昭和の文豪・川端康成と、彼を誘った高田力蔵・白壁康の2人の画家の足跡を称え、2016年に新たに誕生した国民の祝日「山の日」に因んだ「くじゅうの山」絵画コンクールを開催いたします。

テーマは『くじゅう連山が見える風景』。(但し、竹田市側から描いたものに限りです。)

くじゅう連山・久住山は九州本土最高峰、美しい山々は九州アルプスとも呼ばれ、坊がつる賛歌で親しまれるミヤマキリシマ等の高山植物の宝庫です。

くじゅう連山の魅力を、本絵画コンクールを通じて再発信し、地域とのつながり、そして、育まれた誇りを呼び覚まします。

[募集期間]

2017年 5 / 22 ~ 7 / 20

[テーマ]

くじゅう連山が見える風景

(但し、竹田市側から描いたものに限りです。)

主催：大分県竹田市／岩崎奨学金事業

～くじゅうが結んだ先人とのエピソード～

昭和27・28年にくじゅう高原を周遊した川端康成先生は、その素晴らしさに惚れ、小説の題材に取り入れました。当時、川端先生を招いたのが春陽会会員の高田力蔵先生です。高田先生は、くじゅう高原を描いた画家として知られ、今でも逗留先であった長湯温泉には、多くの作品が残されています。もう一人、案内役を勤めたのが、くじゅうに移り住み、亡くなるまで山々を描き続けた白壁康画伯です。白壁画伯はその人柄から地域の人々に愛され、作品は今でも住民によって受け継がれています。2014年には白壁康記念絵画展が開催され、大反響を呼びました。

募集要項

- テーマ／「くじゅう連山が見える風景」
(但し、竹田市側から描いたものに限りませう。)
- 応募資格／一般の部のみとし18歳以上を対象に募集します。
- 作品規定／○油絵(大きさ3号から20号)
尚、運送中に破損の恐れのあるもの、他の作品を傷つけるもの、展示に支障のある重さのものは規定外とします。
- 審査員／○工藤和男先生
(一般社団法人 創元会会長)
○早川 和先生
(一水会 会員)
○加藤康彦先生
(大分県立美術館OPAM 副館長)
- 賞
○最優秀賞 1点(30万円)
○優秀賞 5点(各5万円)
※最優秀作品は竹田市が上記賞金で買上げます。
また、優秀賞作品の著作権は竹田市へ帰属します。
- 額装／○仮縁程度の簡素で軽量なもの。ガラス不可。作品保護の必要な場合はアクリル板のみ可。
○入選作品の展示をワイヤーで吊るして行うので、作品裏面は金具で固定してしっかりと張り、フックをかけて吊るせるようにしておいてください。
- 応募方法／絵画作品カードに必要事項を記入して、作品と一緒に送ってください。
- 募集期間／平成29年5月22日から7月20日の間
- 作品搬入期間／平成29年7月1日～7月20日(木)消印有効
- 送付先：／○住所
問い合わせ先 〒878-0201
大分県竹田市久住町大字久住6161-1
○宛名、連絡先
竹田市役所久住支所地域振興課
TEL 0974-76-1111
- 入選発表 平成29年7月末日(予定)
- 表彰式： 平成29年8月11日
展覧会 久住高原美術館



出品上のご注意

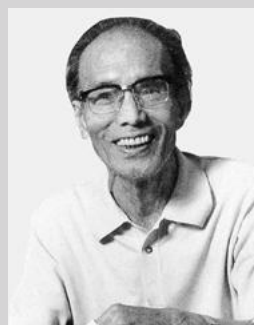
- 出品点数は1人1点とし作品は未発表のものに限ります。模写、合作は不可。
- 作品の裏面に別途様式による作品カードを添付してください。(右下へ貼付)
- 出品料は無料。出品及び返送の料金は出品者負担とします。
- 作品は展示会終了後に返却します。(着払い)
- 不可抗力により作品が損傷した場合、事務局は責任を負いかねます。
- 額は多少のキズが付くおそれがありますので安価な物を使用してください。

高田 力蔵 プロフィール



1900年 福岡県出身久留米市に生まれる
川端画学校にまなび、のち石井柏亭に
師事
1926年 日本水彩画会会員となる
1927年 二科展に出品
1940年 春陽会会員
1945年 戦火で東京のアトリエを焼失して郷里
久留米に疎開。久住高原の自然に魅せ
られて連作を制作
1958年 東京三越本店で九重山群の諸作を展観
1965年 2度目の渡仏によりルーブル美術館で
西洋名画の模写に励む
1976年 日本美術家連盟委員
1986年 日本美術家連盟監事(～1989年)
1992年 東京都で逝去(92才)

白壁 康 プロフィール



1908年 熊本県宇土市に生まれる
東京美術学校油彩科和田英作に師事
1937年 国画会初入選
1946年 久住町へ移住
1950年 創元会入選
1953年 一水会に初出展
1954年 一水会に初入選
1975年 アフガニスタン、パキスタン、インド
へ取材旅行
1976年 一水会会員となる
1977年 第39回一水会展から第49回展までアフ
ガニスタンシリーズを出展
1988年 久住山を出展
1997年 久住町で逝去(88才)